

農001	項目名	市民農園設置事業費	
予算書項目	市民農園設置事業費	ページ	37
年度	H30		
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】農政係 0857-20-3234	
款	農林水産業費	【10次総の施策体系】2104	
項	農業費	【事業の経過及び背景】	
目	農業振興費	近年、吉岡地区市民農園は利用率の低下に伴い、空き区画が増加しており、合わせて、駐車場も長年の使用に伴い沈下が生じ、冠水が発生するなど、対応が必要な状況である。また、湖山地区案内看板については、冬季の積雪等で破損し倒壊の恐れがあることから、こちらも対応が急がれている。	
(単位:千円)		・市民農園開設年度	
補正前額	1,406	里仁地区：S53年度、滝山・叶地区：S63年度、祢宜谷地区：H4年度、布勢地区：H7年度、湖山地区：H18年度、吉岡地区：H20年度	
要求額	391	【事業の目的及び効果】	
総務部長段階査定額	391	吉岡地区市民農園の保守管理委託に、空き区画の草刈り等を追加し、管理を充実させ、近隣の利用者に対する悪影響を防止するとともに、新規利用者が利用しやすい環境を整備する。	
市長段階査定額	391	また、案内看板や駐車場を修繕することにより、利用者の安全の確保と利便性の向上を図る。	
区分		【事業の内容】	
財源内訳	国・県支出金	0	①駐車場修繕(吉岡温泉地区市民農園)
	地方債	0	②劣化看板修繕(湖山地区市民農園)
	その他	0	③市民農園保守管理委託業務の追加(吉岡温泉地区市民農園)
	一般財源	391	
	計	391	
行財政改革課処理欄			

農002	項目名	果樹振興対策事業費	
予算書項目	園芸産地づくり事業費	ページ	37
年度	H30		
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234	
款	農林水産業費	【10次総の施策体系】2104	
項	農業費	【事業の経過及び背景】	
目	農業振興費	鳥取いなば農協管内では、西条柿日本一の産地を目標に掲げ、関係機関が一体となって生産販売に取り組んできた。西条柿の「生果」は販売価格の年次変動が大きいが、「あんぼ柿」は地域を代表する産物の一つに成長し、安定した価格で取引されている。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
補正前額	15,126	「あんぼ柿」加工施設の整備費用を支援し、増産体制を構築してブランド製品の更なる拡大と西条柿栽培農家の安定した収入の確保を図る。	
要求額	1,331	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,331	鳥取いなば農協が管内の西条柿をあんぼ柿に加工する施設整備、機械導入に係る事業費の一部を助成する。	
市長段階査定額	1,331	鳥取いなば農協が事業実施主体となって、産地パワーアップ事業(国補・1/2補助)を活用して加工施設を整備するが、更に、市と八頭町が連携して事業費の10%の嵩上げ支援を行う。	
区分		市と八頭町の支援は、各地域の平成28年産西条柿の出荷量により、市が8.7%、八頭町が91.3%の負担割合とする。	
財源内訳	国・県支出金	0	補助金額
	地方債	0	153,033千円(事業費)×10%(支援割合)×8.7%(市負担割合)=1,331千円
	その他	1,331	財源
	一般財源	0	農業振興基金
	計	1,331	その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。
行財政改革課処理欄			

農003	項目名	次世代農業推進事業費	
予算書項目	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費	ページ	37
年度	H30		
所属名	農林水産部 農業振興課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	1,500		
要求額	13,345		
総務部長段階査定額	11,377	その他財源の内訳	
市長段階査定額	11,377	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	1,440	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	9,937	
	計	11,377	
行財政改革課処理欄			

**事業の概要**

【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】  
農家の高齢化による担い手不足や耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、情報通信技術等を活用したスマート農業等の普及による効率的で高収益につながる農業経営の実現が求められている。

【事業の目的及び効果】  
人工知能（AI）やIoT※を活用した次世代農業技術の導入による安全で効率的な生産体制を推進していくことで、農業経営の安定化による本市農業の持続的な発展を図る。  
※さまざまな物がインターネットでつながることにより実現する新たなサービス

【事業の内容】

- ①先進的農業技術普及事業
  - ・啓発セミナーの開催
  - ・スマート農業の実証
  - ・JGAP指導員資格研修会の開催
- ②次世代型園芸施設整備調査検討事業
  - ・先進事例視察
  - ・市場動向、先進技術、施設規模、収益性、企業参入等の総合調査と基本構想策定

農004	項目名	農作業受託組織体制整備事業費補助金	
予算書項目	農作業受託組織体制整備支援事業費	ページ	37
年度	H30		
所属名	農林水産部 農業振興課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	850		
要求額	2,912		
総務部長段階査定額	2,912	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,912	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	2,912
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	2,912	
	一般財源	0	
	計	2,912	
行財政改革課処理欄			

**事業の概要**

【問合せ先】農政係 0857-20-3232

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】  
兼業農家の増加や農業従事者の高齢化により農作業の委託希望者が増加している。現在、農作業受託が可能な農業公社や集落営農組織等が対応しているが、既に所有のコンバイン等の農業機械が老朽化し、故障が多く十分に農作業受託の需要に対応が出来ておらず、機械更新等の対応が急がれている状況である。

【事業の目的及び効果】  
農作業受託組織の設備の強化により、農地の荒廃の抑制と農業生産の維持・拡大を図る。

【事業の内容】  
事業実施主体 (株)さじ式拾壹  
事業内容 キャリアカー1台を購入  
補助対象経費 5,824千円(税抜)  
補助金額 2,912千円  
財源 農業振興基金

\* その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。

農005	項目名	集落営農体制強化支援事業補助金	
予算書項目	意欲ある担い手支援事業費	ページ	37
年度	H30		
所属名	農林水産部 農業振興課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業構造改善事業費		
(単位:千円)	補正前額 2,379		
	要求額 3,280		
総務部長段階査定額	3,280	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,280	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	2,186	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,094	
	計	3,280	
行財政改革課処理欄			

### 事業の概要

【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】

小規模農家が共同で営農を行う集落営農は、地域の水田農業を守る担い手として重要であり、組織化当初の経営安定を図るため平成20年度より本事業が創設された。

【事業の目的及び効果】

集落営農組織が行う機械施設の整備などに支援を行い、継続的な地域の水田農業の維持を図る。

【事業の内容】

集落営農組織の作成した集落営農ビジョン実現のために必要な事業に対し助成する。

- ・機械施設整備助成 補助率1/2(県:1/3,市:1/6)
- ・1組織 補助対象事業費 6,560千円

農006	項目名	経営体育成支援事業費	
予算書項目	意欲ある担い手支援事業費	ページ	37
年度	H30		
所属名	農林水産部 農業振興課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業構造改善事業費		
(単位:千円)	補正前額 0		
	要求額 3,000		
総務部長段階査定額	3,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	3,000	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	3,000	
行財政改革課処理欄			

### 事業の概要

【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】

平成29年度から、人・農地プランや農地中間管理機構を活用しつつ付加価値化や売上高の拡大、経営コストの縮減などの先進的な農業経営に意欲的に取り組む地域の担い手へ助成する国の支援制度が創設された。

【事業の目的及び効果】

人・農地プランに位置づけられた中心経営体が行う農業用機械・施設整備を支援することで、中心経営体の経営発展と担い手の確保・育成を図る。

【事業の内容】

中心経営体が集積された農地で事業を行う際に必要な農業用機械・施設費用の一部を助成する。

- ・農業機械導入助成 補助率10/10(国費)、補助上限3,000千円
- ・1組織 補助対象事業費 6,513千円

農007	項目名	野生鳥獣被害防止事業費	
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	37
年度	H30		
所属名	農林水産部 農業振興課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業総務費		
(単位:千円)			
補正前額	55,937		
要求額	50		
総務部長段階査定額	50	その他財源の内訳	
市長段階査定額	50	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	50	
	計	50	
事業の概要	<p>【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物等への被害防止を図るうえで、捕獲された個体の食肉等への利用が進められている。鳥取県東部地区においては、いなばのジビエ推進協議会が主体となり、商品開発・販路拡大等をおこなっている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 狩猟者団体及び鳥取県東部1市4町（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町）の解体処理施設、飲食店、関係機関等で組織するいなばのジビエ推進協議会を支援し、野生鳥獣による農作物等への被害防止を図る。</p> <p>【事業の内容】 市町村負担金 50千円</p>		
行財政改革課処理欄			

農008	項目名	林道維持管理事業費	
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	37
年度	H30		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	13,134		
要求額	2,952		
総務部長段階査定額	2,952	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,952	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	2,900	
	その他	0	
	一般財源	52	
	計	2,952	
事業の概要	<p>【問合せ先】林務係 0857-20-3235</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 林道を安全に通行し、維持管理を容易にできるようにするため、点検、除草、修繕、改良、舗装などの維持管理及び改良を行うもの。</p> <p>【事業の目的及び効果】 既設林道の適正な維持管理を行う。</p> <p>【事業の内容】 融雪により林道高路岩坪線の法面が崩落し、緊急に復旧する必要がある。 被災延長L=10m 法面高さH=4m 復旧工法 ブロック積擁壁A=43㎡</p>		
行財政改革課処理欄			

農009	項目名	単県斜面崩壊復旧事業費	
予算書項目	治山事業費	ページ	37
年度	H30		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国庫補助事業（治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業）及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において復旧事業を行い公共施設、人家等を保全するもの。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 大雨等により崩落した山腹を復旧し、家屋等への被害を防止する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 浜坂地区3工区 施工延長L=23m ジオグリッド舗装法面保護工A=99㎡、ジオグリッド擁壁L=12m、U型水路L=23m		
補正前額	12,000	【その他】 その他財源の負担金は、受益者負担金。	
要求額	4,345		
総務部長段階査定額	4,345	その他財源の内訳	
市長段階査定額	4,345	分担金	0
		負担金	434
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	1,955		
地方債	0		
その他	434		
一般財源	1,956		
計	4,345		
行財政改革課処理欄			

農010	項目名	林業・木材産業強化総合対策事業費	
予算書項目	林業・木材産業強化総合対策事業費	ページ	37
年度	H30		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経緯及び背景】 「総合的なTPP等関連政策大綱」に即し、新たな国際環境の下で、原木供給の低コスト化を含めて合板・製材の生産コスト低減を進めることにより、競争力の強化を図る必要がある。また、効率的な林業経営が実現できる地域における原木供給の低コスト化等を推進する必要がある。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲と能力のある林業経営体に対し、原木を低コストで安定的に供給するための高性能林業機械の導入や木材加工流通施設の整備に対し支援を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 高性能林業機械の導入 グラップル1台 16,700千円×1/2=8,350千円(補助率1/2)		
補正前額	0	その他財源の内訳	
要求額	8,350	分担金	0
総務部長段階査定額	8,350	負担金	0
市長段階査定額	8,350	使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	8,350		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	8,350		
行財政改革課処理欄			

農011	項目名	省エネ漁業推進事業費	
予算書項目	省エネ漁業推進事業費	ページ	39
年度	H30		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	水産業費		
目	水産業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	1,217		
要求額	1,283		
総務部長段階査定額	1,283	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,283	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,283	
	計	1,283	
事業の概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 魚価低迷、燃油・資材高騰等厳しい経営環境の中で、将来にわたって自立的・安定的な漁業経営を目指し、県の制度と連携し漁業経営の効率化を図る。</p> <p>【事業の目的及び効果】 漁業経営改善に取り組む漁業者の所得を向上させることにより、漁業後継者確保を図る。</p> <p>【事業の内容】 事業実施者の6名増。 (機関換装1名、機器整備5名)</p>		
行財政改革課処理欄			

農012	項目名	沖合底びき網漁業生産体制存続事業費	
予算書項目	沖合底びき網漁業生産体制存続事業費	ページ	39
年度	H30		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	水産業費		
目	水産業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	5,340		
要求額	4,630		
総務部長段階査定額	4,630	その他財源の内訳	
市長段階査定額	4,630	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	3,086	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,544	
	計	4,630	
事業の概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 沖合底びき網漁業は、本市特産品「松葉がに」「ハタハタ」等を漁獲し、鳥取市の総水揚げの約7割、金額にして約10億円を占める鳥取市の基幹漁業であり、東部地域の経済や観光への波及効果などを考慮すれば、重要な漁業である。しかし、漁船購入等の初期投資は極めて高額で、漁船等の維持管理費もかなり経費を要することや乗組員等の不足、魚価の低迷等の理由で経営体は減少しており（H5=12隻、H29=5隻）、このままでは沖合底びき網漁業の存続や関連産業への影響が懸念される。</p> <p>【事業の目的及び効果】 意欲ある漁業者に対して漁船リース事業及び漁船の継続利用のための機器等整備事業を推進する事により、本市の漁獲高の大半を占める沖合底びき網漁業の衰退を防止し本市の漁業振興を図る。</p> <p>【事業の内容】 作業省力化に資する機器等整備事業の増（1隻）</p>		
行財政改革課処理欄			

農013	項目名	漁港施設維持管理事業費	
予算書項目	漁港施設維持管理事業費	ページ	39
年度	H30		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	水産業費		
目	水産業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	47,967		
要求額	42,942		
総務部長段階査定額	33,409	その他財源の内訳	
市長段階査定額	33,409	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	4,939	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	28,470	
	計	33,409	
事業の概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長和瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。</p> <p>【事業の目的及び効果】 冬期波浪に起因する漁港の航路や泊地への堆砂が、当初見込みより多いことから、出入漁に支障をきたしているため、浚渫工事を実施する。</p> <p>【事業の内容】 浚渫工事（酒津・船磯・夏泊・長和瀬） 11,900m<sup>3</sup></p>		
行財政改革課処理欄			

農014	項目名	漁港施設機能保全事業費	
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	39
年度	H30		
所属名	農林水産部 林務水産課		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	水産業費		
目	水産業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	0		
要求額	46,290		
総務部長段階査定額	46,290	その他財源の内訳	
市長段階査定額	46,290	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	21,245	
	地方債	16,200	
	その他	0	
	一般財源	8,845	
	計	46,290	
事業の概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の目的及び効果】 本市の第1種漁港は、近年、老朽化に伴い更新等が必要な漁港施設が増加している。施設の維持管理を体系的に捉え、計画的に更新することにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を図る。</p> <p>【事業の内容】 漁港施設機能保全計画に定めた対策工事を実施するとともに、対策工事に必要な実施設計等を行う。 また、漁港海岸保全施設において長寿命化対策に取り組むために、施設の調査診断計画策定に着手する。 (内訳) 機能保全工事（酒津・船磯漁港基本施設） 24,380千円 調査設計業務ほか（酒津・船磯漁港） 15,330千円 青谷漁港海岸施設長寿命化計画策定業務 6,580千円</p>		
行財政改革課処理欄			

農015	項目名	農道舗装補修等事業費
------	-----	------------

予算書項目	農道舗装補修等事業費	ページ	37
-------	------------	-----	----

所 属 名	農林水産部 農村整備課
-------	----------------

年度	H30
----	-----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農地費

(単位:千円)

補正前額	39,635
------	--------

要求額	8,000
-----	-------

総務部長段階査定額	8,000
-----------	-------

市長段階査定額	8,000
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	3,750
地方債	0
その他	500
一般財源	3,750
計	8,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	500
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要
<p>【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244            【10次総の施策体系】2104            【事業の経過及び背景】            国内において食料を安定的に供給することが重要さを増すなか、農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保安全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められている。</p> <p>【事業の目的及び効果】            農道を整備することにより、農産物や農業用資材等の運搬を効率的に行うことができ、また農業用水路等を整備することにより、必要な用水量を確保し、排水の能力を高めることで農産物の生産性の向上を図る。農業用施設全般の適正な補修・修繕等をもって、農業環境の整備を行う。</p> <p>【事業の内容】            単市事業（鳥取県しっかり守る農林基盤交付金事業）            ・事業費 39,635千円            ・負担区分 市80% 地元20%            ・事業内容 農道舗装、用排水路の補修・改良等            &lt;6月補正予算&gt;            ・気高町奥沢見地区地形測量 事業費 2,500千円            ・湖東大浜用水管保全計画 事業費 3,000千円            ・気高町重高地区農業用水管敷設工事 事業費 2,500千円</p> <p>* その他財源の負担金は地元負担金</p>